株式会社イーテック レーザー1 次元スキャナ設定マニュアル FS380 シリー

MD2250+/MD2250+AT シリーズ FS380 シリーズ他

株式会社イーテック 技術部 2021年4月01日

目次

目次	1
この説明書の使い方	2
レ ーザー1 次元シリーズスキャナ の設定	4
インターフェースの選択	4
キーボードインターフェースの設定(PS2)	5
シリアルフェースの設定	6
USB フェースの設定	8
モードの設定- I	9
モードの設定-Ⅱ	10
表示・ブザーの設定	11
用紙検知とスタンドの設定	12
UPC-A・E・E1 の設定	13
EAN-13(ISBN)・EAN-8の設定	16
Code39 の設定	18
Interleaved 2 of 5 (ITF) の設定	19
Industrial 2 of 5 の設定	20
Matrix 2 of 5 の設定	21
Codabar の設定	22
Code128 の設定	23
UCC/EAN128 の設定	24
GS1 Data Bar の設定	25
付加コードの設定	28
バージョン情報・出荷時へ戻す	32
引数登録用バーコード表	33
ASCII コード表	3/1

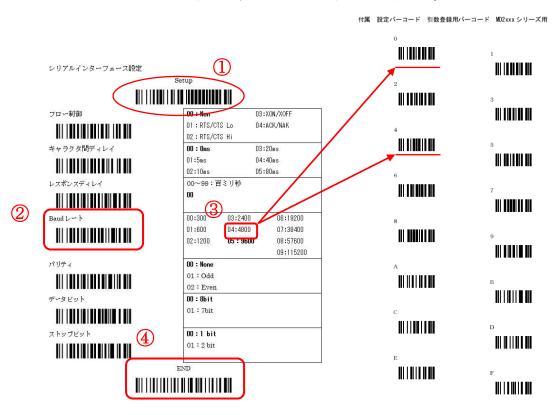
レーザー1次元スキャナシ設定バーコードシートの使い方

設定手順

- 1, SETUP バーコードをスキャンします。
- 2、設定項目バーコードをスキャンします。
- 3, 設定値(引数)をスキャンします。(付属 設定バーコード引数登録用バーコードを使用)
- 4, END バーコードをスキャンします。

以上が、設定の基本手順です。以下に例を示します。

シリアルインターフェース設定で、ボーレートを変更する例です。



標準設定のボーレートは、9600bps です。これを 4800bps に変更の場合、

- ① Setup をスキャン
- ② Baud レートをスキャン
- ③ 目的の、4800bps は、04 なので、0 と 4 をスキャン
- ④ END をスキャン

以上で、設定は完了です。

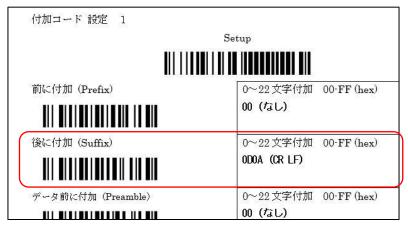
設定に、ASCII テーブルが必要な例

デフォルトの設定は、太文字で表記してあります。

たとえば、バーコード送信データの後に、TABキーを付加する場合などが当たります。

付加文字は、ACSII コードで指定しますので、設定バーコード引数登録シートも使用します。

TABキーをバーコード後に追加したいので、



印の部分、後に付加(Suffix)の設定を行います。

- ① Setup をスキャン
- ② 後に付加(Suffix)をスキャン
- ③ 目的の、TAB キーは、MD2250+/FS380 専用 ASCIIテーブルより H=0、L=9 なので、設定バーコード 引数登録用バーコードより、0、9の順にスキャンします。
- ④ END をスキャン

以上で、設定は完了です。

なお、USB キーボードインターフェースの標準設定では CR (Enter) が付加されるように設定されています。

機種による差異や、ファームウエアのバージョンにより、設定バーコードよ読み込んでも、設定出来ない項目も存在ます。この場合、END バーコードを読み込んでも設定完了音(ピー,ピッ,ピッ)が鳴りません。

**多台数の導入などで、同じ設定を繰り返し行いたい場合などは、専用設定パーコードシートの作成を行いますのでご相談下さい。



インターフェース選択

00 : Auto detection

01 : Keyboard 02 : RS-232

03:USB





インターフェース選択



キーボードレイアウト





クロック周期





キー遅延



数字キー



文字間ディレイ



データ間ディレイ



Caps Lock 反転



Caps Lock 設定



00: **AT**, **PS**/**2** 01: ADB (MAC)

00:USA	04:Italish	08:Japanese
01:Turkish F	05:Spanish	09:German
02:Turkish Q	06:Slovak	10:Belgian
03:French	07:Denmark	11:Russian

00:60us	03:90us
01:70us	04:100us
02:80us	05:200us
00:0ms	03:40ms
01:10ms	04:80ms
02:20ms	

00:Full キー

01:10key

02:Alt+keypad

00:0ms	03:20ms
01:5ms	04:40ms
02:10ms	05:80ms

00:1ms 01:2ms

02:4ms

03:8ms

00:Disable

01:Enable

00:Disable

01:Enable





フロー制御

キャラクタ間ディレイ

レスポンスディレイ

Baud レート

0305

パリティ

データビット

ストップビット

 00 : Non
 03:X0N/X0FF

 01 : RTS/CTS Lo
 04:ACK/NAK

02: RTS/CTS Hi

00:0ms 03:20ms

 01:5ms
 04:40ms

 02:10ms
 05:80ms

00~99: 百ミリ秒

00

 00:300
 03:2400
 06:19200

 01:600
 04:4800
 07:38400

 02:1200
 05:9600
 08:57600

09:115200

00 : None 01 : Odd

02 : Even

00: **8bit** 01: 7bit

00:1 bit

01:2 bit



シリアルインターフェース設定(ワンタッチ設	定)
フロー制御	
None	XON/XOFF
RTS/CTS Lo	
RTS/CTS Hi	
Baud レート	
300bps	9600bps
600bps	19200bps
1200bps	38400bps
######################################	57600bps
######################################	115200bps
パリティ	
None	
データビット	LYGII
ストップビット	



USB タイプ



キーボードレイアウト



文字間ディレイ



数字キー



00:HID Keyboard

01:HID Keyboard (MAC)

02:USB Virtual COM

03:Simple COM Port Emulation

00:USA04:Italish08:日本語01:Turkish F05:Spanish09:German02:Turkish Q06:Slovak10:Belgian03:French07:Denmark11:Russian

00:0ms 03:20ms **01:5ms** 04:40ms 02:10ms 05:60ms

00:Full キー

01:10key

02:Alt+keypad

END



*日本語キーボードレイアウトに変更の場合、ワンタッチ設定バーコード、Japanese を読み込んで下さい。

Setup→キーボードレイアウト(0902)→08:日本語(0,8)→END の手順でも設定できます。



スキャンモード



スタンバイ継続



同バーコード認識時間



読み取り再確認回数



データ最大長 (全コード)



データ最短長 (全コード)



G1-G6 セット選択



Element amendment



出力文字範囲設定



00: Good-read off

01: Momentary

02 : Alternate

03: Continuous

04: Timeout off

01~99: 百ミリ秒

40

00~99: 百ミリ秒

10

 $00 \sim 09$

00 (再確認なし)

 $04 \sim 99$

99

 $01 \sim 99$

04

 $00 \sim 66$

00

00:無効 01:有効

00:範囲制限なし

01: 印刷可能文字のみ(20H~7EH)

02: 英数字のみ





デコーダ最適化



ディレイ



スリープモード移行



00:無効

01:有効

01~99:秒

00:4秒

00:15分

01:30 分

02:60分

03:無効





起動ブザー音



読込 LED



読込ブザー音



ブザートーン (サイクル秒)



ブザーボリューム



00 : Disable

01: Enable

00:無効

01:有効

00:無効 01:有効

01~09:10ミリ秒

05 (50ms)

00 : Low01 : Middle02 : High





用紙検知



スタンドモード設定



スタンバイ移行時間



00:無効

01:有効

00: スタンド使用時用紙検知起動

01:常時用紙検知有効

02:スタンド使用時常時読込(用紙検知な

し)

00~99:秒

04





読み込み



チェックデジット



チェックデジット送信



Code ID 設定



挿入 G1-G6 セット選択



アドオン



拡張設定



00:無効

01:有効

00:無効 01:有効

00:送信しない

01:送信

00~FF (hex)

41 (A)

 $00 \sim 66$

00

00:無効

01:2 桁を有効 02:5 桁を有効

03:2&5 桁を有効

00 : None

01: 先頭のゼロを送らない 02: UPC-A を EAN-13 に





読み込み



チェックデジット



1202

チェックデジット送信



Code ID 設定



挿入 G1-G6 セット選択



アドオン



拡張設定



00:無効

01:有効

00:無効 01:有効

00:無効 01:有効

00~FF (hex)

44 (D)

 $00 \sim 66$

00

00 : None

01:2桁を有効 02:5桁を有効

03:2&5 桁を有効

00 : None

01:上位桁のゼロを送らない

02 : UPC-E を EAN-13 に

03: UPC-EをUPC-Aに

04:システム文字(先頭の0)を送らない





読み込み



チェックデジット



3402

チェックデジット送信



Code ID 設定



挿入 G1-G6 セット選択



340

アドオン



拡張設定



00:無効

01:有効

00:無効 01:有効

00:無効

01:有効

00~FF (hex)

44 (D)

00~66

00

00 : None

01:2 桁を有効 02:5 桁を有効

03:2&5 桁を有効

00 : None

01: 先頭のゼロを送らない02: UPC-E を EAN-13 に03: UPC-E を UPC-A に





読み込み



チェックデジット



1302

チェックデジット送信



Code ID 設定



挿入 G1-G6 セット選択



アドオン



ISBN/ISSN 変換



ISBN/ISSN Code ID 設定



00:無効

01:有効

00:無効

01:有効

00:無効

01:有効

00~FF (hex)

41 (A)

00~66

00

00 : None

01:2 桁を有効

02:5 桁を有効 03:2&5 桁を有効

00:無効 01:有効

00~FF (hex)

41 (B)





読み込み



チェックデジット



チェックデジット送信



Code ID 設定



挿入 G1-G6 セット選択



アドオン



拡張設定



00:無効

01:有効

00:無効 01:有効

00:無効 01:有効

00~FF (hex)

43 (C)

00~66

00

00 : None

01:2 桁を有効 02:5 桁を有効 03:2&5 桁を有効

00 : Disable

01 : Enable

02: EAN-8 を EAN-13 に





読み込み



チェックデジット



1502

チェックデジット送信



Max.データ長



Min.データ長



Code ID 設定



挿入 G1-G6 セット選択



Full ASCII Code39



START/STOP コード送信



START/STOP をデータに含む(*)



00:無効

01:有効

00:無効

01:有効

00:無効01:有効

00~99

00

00~99

01

00~FF (hex)

4D (M)

00~66

00

00:無効

01:有効

00:無効

01:有効

00:無効

01:有効





読み込み



チェックデジット



チェックデジット送信



Max.データ長



Min.データ長



Code ID 設定



挿入 G1-G6 セット選択



00:無効

01:有効

00:無効 01:USS

02: OPCC

00:無効01:有効

00~99

00

00~99

06

00~FF (hex)

49 (I)

00~66

00





読み込み



Max.データ長



Min.データ長



Code ID 設定



挿入 G1-G6 セット選択



Reserved



00:無効

01:有効

00~99

00

00~99

00

00~FF (hex)

48 (H)

00~66

00





読み込み



チェックデジット



1802

チェックデジット送信



Max.データ長



Min.データ長



Code ID 設定



挿入 G1-G6 セット選択



Reserved



00:無効

01:有効

00:無効

01:有効

00:無効

01:有効

00~99

00

00~99

06

00~FF (hex)

58 (X)

00~44

00





読み込み



チェックデジット



チェックデジット送信



Max.データ長



Min.データ長



Code ID 設定



挿入 G1-G6 セット選択



START/STOP タイプ



START/STOP コード送信



START/STOP は同じ文字



00:無効

01:有効

00:無効

01:有効

00:無効

01:有効

00~99

00

00~99

00

00~FF (hex)

4E (N)

 $00 \sim 66$

00

00: ABCD/ABCD

01: abcd/abcd 02: ABCD/TN*E

03: abcd/tn*e

00:無効

01:有効

00:無効

01:有効





読み込み



チェックデジット



チェックデジット送信



Max.データ長



Min.データ長



Code ID 設定



挿入 G1-G6 セット選択



先頭ゼロの削除



00:無効

01:有効

00:無効 **01:有効**

00:無効

01:有効

00~99

00

00~99

01

00~FF (hex)

4B (K)

00~66

00

00:無効

01: すべてのゼロを削除

02: 先頭ゼロ1文字を削除





読み込み



チェックデジット



2502

チェックデジット送信



Max.データ長



Min.データ長



Code ID 設定



挿入 G1-G6 セット選択



先頭ゼロの削除



00:無効

01:有効

00:無効 **01:有効**

00:無効 01:有効

00~99

99

00~99

01

00~FF (hex)

4B (K)

00~66

00

00:無効

01: すべてのゼロを削除

02: 先頭ゼロ1文字を削除





読み込み



Code ID 設定



挿入 G1-G6 セット選択



拡張設定



Reserved



00:無効

01:有効

00~FF (hex)

52 (R)

00~66

00

00:無効

01: GS1 を UCC/EAN128 に

03: GS1 を UPC-A または EAN-13 に





読み込み



Code ID 設定



2802

挿入 G1-G6 セット選択



拡張設定



Reserved



00:無効

01:有効

00~FF (hex)

52 (R)

00~66

00

00:無効

01: GS1 を UCC/EAN128 に

02: GS1 を UPC-A または EAN-13 に





読み込み



Max.データ長



Min.データ長



Code ID 設定



挿入 G1-G6 セット選択



拡張設定



Reserved



00:無効

01:有効

00~99

00

00~99

01

00~FF (hex)

52 (R)

00~66

00

00:無効

01: GS1 を UCC/EAN128 に





前に付加 (Prefix)



後に付加 (Suffix)



8002

データ前に付加 (Preamble)



データ後に付加 (Postamble)



G1 付加文字列設定



8005

G2 付加文字列設定



G3 付加文字列設定



G4 付加文字列設定



0~22 文字付加 00-FF (hex)

00 (なし)

0~22 文字付加 00-FF (hex)

ODOA (CR LF)

0~22 文字付加 00-FF (hex)

00 (なし)

END



Prefix	Code	Preamble	Code	Code	Code	Code	Postamble	Suffix
	Name		ID	length	Data	ID		



FN1 付加コード設定



Reserved



Reserved



Reserved



Reserved



文字の置き換え C1



文字の置き換え C2



0~4 文字付加 00-FF (hex)

20 (SP)

 $0000 \sim FFFF$

0000 (なし)

例:4142 変更対象-変更後 A→B

 $0000\sim$ FFFF

0000 (なし)

例:3132 変更対象-変更後 1→2

END



Prefix	Code	Preamble	Code	Code	Code	Code	Postamble	Suffix
	Name		ID	length	Data	ID		



G1 挿入位置	00~99
	00
8101	
G2 挿入位置	00~99
	00
8102	
G3 挿入位置	00~99
	00
8103	
G4 挿入位置	00~99
	00
8104	
Code ID 挿入位置	00:パーコードデータ前
	01:バーコードデータ後
8105	
Reserved	
81 810 810 810 810	
Reserved	

END



Prefix	Code	Preamble	Code	Code	Code	Code	Postamble	Suffix
	Name		ID	length	Data	ID		



Prefix 送信



Suffix 送信



8202

Code 名 送信



Preamble 送信



Postamble 送信



8205

Code ID 送信



Code 長さ 送信



Shift キー設定



00:無効

01:有効

00:無効

01:有効

00:無効

01:有効

00:無効

01:有効

00:無効

01:有効

00:無効

01: ユーザー設定・出荷時設定 ID

02 : AIM ID

00:無効

01:有効

00: Disable

01: Upper (Data のみ)

02: Lower (Data のみ)

03: Upper (伝文すべて)

04: Lower (伝文すべて)

END



P	refix	Code	ode Preamble		Code	Code Code		Postamble	Suffix
		Name		ID	length	Data	ID		

出荷時設定に戻す・バージョン設定

出荷時設定に戻す



ファームバージョン表示



すべての設定を。工場出荷時に戻します。

ファームウエアのバージョンを表示しま す。

(出力)

^{*}出荷時設定に戻すと、設定マニュアルに太文字で記載されている設定内容に戻ります。

付属 設定バーコード引数登録用バーコード

0	
2	
4	
6	
8	
A	
C	
E	_F

ASCIIテーブル

Н	HI	D	RS	232	共通					
L	0	1	0	1	2	3	4	5	6	7
0	Null		NUL	DLE	SP	0	@	P	•	p
1	Up	F1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	Down	F2	STX	DC2	cc	2	В	R	b	r
3	Left	F4	ETX	DC3	#	3	C	S	С	S
4	Right	F4	ЕОТ	DC4	\$	4	D	Т	d	t
5	PgUp	F5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	PgDn	F6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7		F7	BEL	ЕТВ	ć	7	G	W	g	w
8	Bs	F8	BS	CAN	(8	Н	X	h	x
9	Tab	F9	НТ	EM)	9	I	Y	i	у
A		F10	LF	SUB	*	:	J	Z	j	Z
В	Home	Esc	VT	ESC	+	;	K	Г	k	{
С	End	F11	FF	FS	,	<	L		1	
D	Enter	F12	CR	GS	_	=	M]	m	}
E	Inscrt	Ctrl+	so	RS	•	>	N	^	n	~
F	Delete	Alt+	SI	US	/	?	О		O	DELL

HID の列に設定の ASCII テーブルは、MD2250+/FS380 専用の配置です。

改訂履歴

Ver1.0	販売開始時バージョン	
Ver1.10	配布開始	
Ver1.20	設定情報の誤りを訂正	2015年8月20日
Ver1.30	販売元変更	2021年4月 1日

株式会社イーテック 技術部発行